

この登山口は、まとめて蒜山三座として知られる3つの峰、中蒜山（1,123m）、上蒜山（1,202m）、下蒜山（1,100m）の山頂につながっている。

登山道は、中蒜山の南側に沿って、およそ600メートルの標高を登る。峰の近くの稜線沿いには、ブナノキの森林区域が散らばって存在する。山頂の少し前で、道は東西に分岐する。

西の分かれ道は初めに中蒜山の山頂に向かい、南に蒜山高原、北に日本海の絶景を提供する。高湿／冷涼な天気の際は、濃い霧が、蒜山盆地の標高が低い場所に集まり、雲海（雲の海）と呼ばれる印象的な景色をもたらすことも多い。この2.7キロの区間をハイキングするには、1.5～2時間（片道）を要する。

稜線に沿って西に1.6キロ進み続けた場合、ハイカーは、およそ1時間で上蒜山の山頂に到着する。登山道は、そこから西に続き、最終的に別の登山道の入口と駐車場につながる。この道を進むハイカーは、上蒜山の山頂をおよそ0.5キロ越えたところで、隣接する鳥取県の巨大な休火山、大山の絶景を楽しむことができる。6月、登山道沿いでは、淡いピンクのササユリが咲き誇る。

最初の分岐点を東に進んだハイカーは、1.5～2時間をかけ、下蒜山の山頂まで、およそ3キロメートルを横切る。すると、山の東面に連なる高原と笹原を展望することになる。